

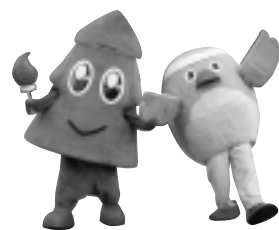


少年男子5000m競歩優勝の長岩大樹選手(秋田工高)

全力プレー、
笑顔のふれあいが、
永遠の一瞬になった！

 **秋田わか杉国体**
君のハートよ位置につけ 第62回国民体育大会

 **秋田わか杉大会**
きっと出会える！夢と感動 2007 第7回全国障害者スポーツ大会



来年の大分国体マスコット・めじろんとスキッチ。もうすっかり仲良しだよ！



堂々準優勝の少年ラグビー



おもてなしボランティアのきりたんぼは、味付けに自信たっぷり

9月29日、雄和の県営陸上競技場で開催された開会式。さわやかな秋空が広がったスタンドは約1万800人の大観衆であふれ、天皇皇后両陛下ご出席のもと、46年ぶりとなる地元開催の喜びを分かち合いました。

「人間賛歌」と題し、千100人の県民が緑のフィールドいっぱい

感動の開会式

「秋田わか杉国体」、そして障害者スポーツの秋田わか杉大会が、市民、県民に、たくさん思い出を残して終了しました。天皇杯(男女総合)、皇后杯(女子総合)の獲得もうれしかったですが、大勢の市民がボランティアなどいろいろなかたちで参加できたことも大収穫でしたね！



天皇杯、皇后杯獲得！



46年ぶりの秋田大会に、堂々と、晴れやかに入場



天皇后両陛下がご出席されました



秋田県選手団の入場で歓声は最高潮に

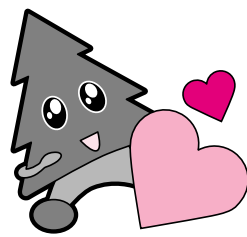
に躍動し、「太古のロマン」「豊穡の大地」「明日への架橋」を表現した式典前演技。選手入場が始まると各県選手団を大観衆が温かい拍手で迎え、最後に秋田県の大選手団が登場すると拍手は大歓声に変わりました。そして、陸上の茂木智子選手、バスケットボール少年男子の渡部敬祐選手が炬火を点火。11日間の熱戦の幕開けとなる大きな炎が燃え上がりました。

9月29日から10月9日までの国体期間中、秋田市では陸上競技、水泳、サッカー、テニス、体操、柔道、ライフル射撃、ラグビーフットボール、ゴルフの正式競技のほか、公開競技として高校野球(硬式)とスポーツ芸術を開催。10月13日から15日までの秋田わか杉大会では、陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、グラウンドソフトボール、フットベースボールの7競技が行われました。

国体で全国から秋田市の競技会場に訪れた選手・監督は6千628人、大会関係者は1万5千771人、観覧者は13万5千464人にのぼりました。また、秋田わか杉大会の選手・役員は3千524人、関係者は8千51人で、観覧者は6千423人でした。



わか杉大会の要約筆記ボランティア



わたしの 秋田国体



一緒に出演したメンバーとも打ち解けて、すっかり仲良し
(前列中央が和田さん)

9月29日に行われた開会式で、式典前演技のマスゲームに出演しました。練習は5月に始まって、夏には炎天下での練習でしたが、とにかく一生懸命やりました。リハーサルまでは少し不安でしたが、本番はこれまでで一番の出来でした。

また、「ひとりひとやく」という呼びかけを見て、わたしも何かしなくちゃとボランティアにも応募しました。国体の体操の練習会場、ラグビー会場、わか杉大会のフットボール会場に合わせて8日間ボランティアをしたんですが、県外から応援に来たかたとお話もできて、楽しかったです。

開会式やボランティアに参加できたことは貴重な経験です。開会式本番前のお昼を食べながらのおしゃべりや、終わってから記念撮影などもとっても盛り上がり、すべてがいい思い出です。第二の青春ですね。女学生のような気分でした。



第二の青春を満喫しました
和田得子さん(千秋)

飲み物が残って無駄にならないように工夫したり、「おつかれさまで」と声をかけたり、積極的に取り組む妹と弟の姿を見て、成長も感じました。



これでまた一つ成長したかな...



姉弟そろってボランティア!

高清水 愛さん(中)・萌さん(左)・
信智くん(新屋)

国体期間中、競技会場や街の至る所に、白いジャンパー姿で国体を無償の力で支えてくれた大勢の人たちがいました。

総合案内所での案内、駐車場整理、競技会場での受け付け、清掃、ドリンクサービスなどをしてくれた市国体局登録のボランティアは千430人。開会式や閉会式、わか杉大会は、2千646人の県国体局登録のボランティアがお手伝いしてくれました。そのほか、自分たちのアイデアでスギツチマスコットを作って選手にプレゼントしたり、応援グッズを作ったりして盛り上げてくれた市民のみなさんもたくさんいました。

競技会場やぼろーどをカラフルに彩った花のプラントーは各地域の市民憲章推進協議会の人たちが小学生が育ててくれました。全国の都道府県への応援メッセージが書かれた76本ののぼり旗は中学生たちの自信作。自分の県への応援メッセージを目にした選手たちは、きつと勇気づけられたに違いありません。

わか杉大会では、競技会場のふれあい広場で婦人会のみなさんなどが無料でできたんぼを振る舞い、県内外からの人たちに

たくさんの方が
支えた秋田国体



国体選手にインタビュー

「秋田の印象、聞かせてください」

武田雄平さん(左)、本多健一郎さん(中)、藤岡大樹さん(熊本県・陸上)



熊本より寒かったけど、みなさんのもてなしに人柄の温かさを感じました。



松本雄史^{かつし}さん
(兵庫県・柔道)

定食屋の店員さんの人当たりがよかったです。いい意味でのんびりした印象を受けました。

岩宮亜紀彦さん、玉城考さん
(愛媛県・レスリング)



言葉が全然違います。宿の人とか、バスの運転手さんとか、なまってましたね。でも、だいたいの意味はわかりましたよ。



長野県・陸上チームのみなさん

競技会場にお年寄りがたくさん応援に来ているのが印象的でした。みなさん元気ですね。



休憩所でドリンクサービス



ふれあいコーナーではきりたんぼ鍋が好評



競技観戦も観光もおまかせ(ほぼろーどの総合案内所)



高校生もさわやかに手伝ってくれました

喜ばれました。
JR秋田駅や秋田空港に到着した県外選手たちの「道しるべ」となったのも、ボランティアのみなさんです。秋田駅の総合案内所ではボランティアスタッフが会場へのアクセスマップや観光パンフレットを配りながら、県外のお客さんたちに和やかに秋田情報を提供していました。

「受け付けやドリンクサービスなどのボランティアがとても親切だった。ソフトな秋田弁にも市民の温かいハートが感じられた」…日本陸上競技連盟役員「街中がとてもきれい。ごみやたばこの吸い殻がほとんど見られなかった。駅前近くに大きな公園があり、緑を大事にしている。好ましい」…大分県知事
秋田市民の気持ち、秋田のおいしい食べ物、豊かな自然は、きっと全国の人たちの心に伝わったはずだ。

国体に向けて練習を積み重ねてきた選手のみなさん、準備に取り組んできた関係者のみなさん、そしてボランティアのみなさん、たいへんお疲れさまでした。市民が力を合わせて一つのことを成し遂げた今回の経験を、これからの秋田市の力にしていきたいでしょう！